

イッキ落ち
シリーズ

コンクリート用洗剤

You Tube

で検索!!

イッキ落ち

コンクリート汚れ イッキ落ち

即効性の強力洗剤



1L

“コンクリート汚れイッキ落ち”は
ブレンドした数種類の酸と洗剤の力で
コンクリート等の汚れを化学分解して落とす
即効性の強力洗剤です。

即効性
強力
洗剤

高圧水洗浄同等の洗剤力!!

こんなに
キレイに!



※裏面の使用方法・使用上の注意を充分お読みになりご使用ください。



ヤブ原産業株式会社

YABUHARA Industry CO.,LTD.

■ 用 途

●コンクリート・モルタル面、インターロッキング^{*1}、ブロック等のコンクリート二次製品に付着した汚れの除去。(タイヤ痕、泥汚れ、水垢、カビ、コケ、油汚れ^{*2}、セメントの白華等)

※1 インターロッキング等、着色された部材は色が落ちる恐れがあります。

※2 油の種類によっては除去できない場合があります。(姉妹品の「塗り床汚れイッキ落ち」をお試しください)

■ 適さないもの

●大理石、御影石等の石材 ●ステンレス、アルミ、鉄、銅、亜鉛メッキ等の金属およびそれらを含む合金。

■ 使用方法

- ① 材料塗り：全面に散水し表面に十分に水が溜まっている状態で、ローラー、刷毛等を用いて、原液で100~300ml/m²塗布します。軽度の汚れの場合は、本剤を2倍(水100mlに本剤100ml)に薄めて使用してください。塗りつけると泡状の反応が起こりますので、泡の反応が鎮まるまで待ちます。
- ② 洗 浄：下地が乾かないうちに、全面を柄つきブラシ等でこすりながら大量の水を用いて水洗いをします。その後、洗いが残らないようにゴムレキやウエスで拭き取ります。しっかりと水洗いをしないと、シミが残る恐れがありますのでご注意ください。シミが残った場合は、再度水洗浄を行いそれでも残る場合は、水やエタノールを含ませたタオルで強く拭き取りを行ってください。
- ③ 乾燥養生：常温で放置して乾燥させます。
- ④ 片 付 け：使用したブラシなどはしっかりと水で洗浄します。

注意!!

●新設若しくは新設に近いコンクリート(一般に白い状態)の場合、表面のセメント分が溶かされてコンクリート中の砂が露わになることにより、色が変わって見えることがありますので十分ご注意ください。^{*3} ●散水を行わずに洗浄した場合も、コンクリート中の砂が露わになることにより、色が変わって見えることがありますので十分ご注意ください。^{*3} ●汚れている部分のみを洗浄すると色ムラが発生しますので、本剤を用いて全体を洗うようにしてください。●洗浄を頻繁に行うとコンクリート表面を傷めてしまう恐れがありますので、洗浄は半年に1回程度にしてください。

※3 新設若しくは新設に近いコンクリートの洗浄前と洗浄後

遠写



接写



右記の事項
を必ず一読
ください

■ 使用量の目安：約5m²/L(下地の状態により変動します)

品 名	コンクリート用洗浄剤	液 性	酸 性	正味量	1L
成 分	塩酸(4.9%)、スルファミン酸(1.0%)、しゅう酸(0.5%)、界面活性剤(0.05% ポリオキシアルキレンアルキルエーテル)				



危 険

- ◎ 重篤な皮膚の薬傷および眼の損傷
- ◎ 吸入するとアレルギー、喘息、または呼吸困難を起こす恐れ
- ◎ 臓器の障害(呼吸器系)

まぜるな危険

酸性
タイプ

塩素系の製品と一緒に使う(まぜる)と有害な塩素ガスがでて危険です。



眼に注意 子供に注意 飲むな危険 塩素系と併用不可 他の容器に移し替えない マスク・手袋着用 必ず換気

■ 使用上の注意

●用途以外に使わない。●ほかの容器に移して使用しない。●使用時はゴム製等の手袋又は柄つきブラシを使う。●金属製ブラシは使用しないこと。●眼や皮膚、衣服に液がつかないように注意する。●使用後は必ず手を洗うこと。●子供の手の届くところに置かない。●液をかけたまま放置しない。●屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。●側溝、河川、湖沼などには直接廃棄しないこと。●変色する恐れがある材質もあるので、試し塗りを事前に行うこと。●植栽等は、本剤が付着すると枯れる恐れがあるため、付着しないよう十分養生をすること。●本剤の黄色が薄くなっても性能には問題はありません。●汚れている箇所だけを洗浄するのではなく、その面全体を洗浄することを推奨します。

■ 応急処置

●眼に入った時は、眼を傷めることがあるのですぐ流水で15分以上洗い流すこと。飲み込んだ時は、無理に吐かせず、すぐに口をすすぎコップ1~2杯の水を飲ませること。いずれの場合も、直ちに医師に相談すること。●皮膚についた時は、石鹸と水で十分洗い流すこと。●衣類に付着した時は直ちに脱ぎ、再使用する場合は洗濯すること。●吸入して呼吸が困難な時は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。●異常があるときは製品を持参し、医師に相談すること。



ヤブ原産業株式会社

本 社 / 〒334-0054 埼玉県川口市安行北谷546
☎ 048(297)4111 Fax 048(290)1198
URL <http://www.yabuhara-ind.co.jp/>
E-mail hanbai@yabuhara-ind.co.jp